

グルタミニル-tRNA合成酵素（グルタミン加水分解）

Cat. No. EXWM-5810

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 明確なグルタミン-tRNAリガーゼ（EC 6.1.1.18）が存在しないシステムでは、グルタミニル-tRNAGlnは二酵素系によって形成されます。最初のステップでは、非選択的リガーゼ（EC 6.1.1.24、グルタミン酸-tRNAGlnリガーゼ）がtRNAGlnをグルタミン酸で誤充電し、グルタミニル-tRNAGlnを形成します。グルタミニル-tRNAGlnは、現在の酵素がそれをグルタミニル-tRNAGlnに交換するまで、タンパク質合成には使用されません（グルタミニル-tRNAGluはこの反応の基質ではありません）。アンモニアまたはアスパラギンは、好ましい基質であるグルタミンの代わりに使用できます。

別名 Glu-AdT; Glu-tRNAGln アミドトランスフェラーゼ; グルタミル-tRNAGln アミドトランスフェラーゼ; Glu-tRNAGln:L-グルタミン アミドリガーゼ (ADP形成)

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 6.3.5.7

CAS登録番号 52232-48-1

反応 $\text{ATP} + \text{L-グルタミル-tRNAGln} + \text{L-グルタミン} = \text{ADP} + \text{リン酸} + \text{L-グルタミニル-tRNAGln} + \text{L-グルタミン酸}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。